

ユニバーサルデザインの視点を重視した授業の研究

～わかる・できる授業を目指して～

1年 算数 「3つのかずのけいさん」

UD (ユニバーサルデザイン) の視点

○ 焦点化

- ・本時のめあてとなるひき算とたし算の混合に気づかせるために、「おりました」「のりました」の言葉に線を引くなどして注目させる。
- ・数にも印をつけ、式に使う数を確認める。
- ・わざと間違えた式を教師が示し、どこがおかしいかを考えさせることでことばの意味や計算の順序の重要性に気づかせる。

○ 視覚化

- ・子ども達がブロックを操作しながら問題を確認できるように、問題を拡大して黒板にはる。
- ・ブロック操作も黒板で確かめながら計算の手順を確認する。

○ 共有化

- ・予想し発表する時間を多めにとることで、授業へ参加しやすくする。
- ・クラス全員で共有する考えについてはペア学習を取り入れ、考えを確実に広げる。また、ペアでの確認を取り入れて、自信をもって発言できるようにする。

視覚化

「すうじ」は「じゅんばん」通りに式にするんだっけ。



共有化

「おりました」は、減るからひき算で、「のりました」は、増えるからたし算だよ。

「おりました」は減るのに、たし算になっているのは、おかしい。
「のりましたは」は増えるのに、ひき算になっているのはおかしい。



焦点化



成果と課題

- 成果**
- 板書が整理されていて、わかりやすかった。大切なポイントのカードが有効だった。
 - 自分で考えたときには、できていない子が多かったが、ペアで話し合ったことで、「ことば」に気を付けて考えることができた。
 - わざと間違えた式を提示したことで、たし算言葉とひき算言葉を考えることができた。
- 課題**
- 最後に準備していた練習問題が難しかった。教科書と同じような書き方のものにしたほうがよかった。
 - 黒板でブロックを動かすときに、手の動きもしっかり確認しながらの方がよかった。

ユニバーサルデザインの視点を重視した授業の研究

～わかる・できる授業を目指して～

2年 算数科 「 三角形と四角形 」

UD (ユニバーサルデザイン) の視点

○ 焦点化

・課題を把握する場面において、点と点をつないでそれを囲む活動を設定し、図形の構成要素である直線に目を向けることができるようにする。

○ 視覚化

・自力解決の場面では、三角形と四角形を定義と結んで弁別する活動を通して、辺と角のきまりを見出すことができるようにする。

○ 共有化

・集団思考において、いろいろな形や大きさの三角形、四角形を分割再構成する活動と気づきを交流する活動を取り入れ、体験と表現交流を通して三角形と四角形の意味や性質を実感できるようにする。

焦点化

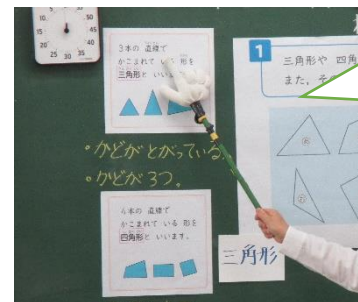
直線の数で
分けられそうだな。



直線の数が
ちがうなあ。

視覚化

直線に注目
できるように！



辺の数も頂点
の数も3か4に
なるよね！

共有化

3本か4本の
直線でかこまれ
ているよね。

これは、直線で
かこまれていない
よね？



成果と課題

成果 ○課題を把握する場面では、単元の中心的部分に関する課題を提示することで学習を焦点化させることができた。

○課題を自力で解決する場面では、観点(要素)を定めていろいろなもの(三角形や四角形)を見ることでそのものの特徴が見えてくることに気付かせることができた。

○考えを交流する活動では、自分なりの見方考え方を他者と比べ合うことで、見方考え方のひろがりとそのよさについて実感させることができた。

課題 ●個々の課題解決に応えるための学びの個別化を考える必要がある。

ユニバーサルデザインの視点を重視した授業の研究

～わかる・できる授業を目指して～

3年 算数 「あまりのあるわり算」

UD (ユニバーサルデザイン) の視点

○ 焦点化

- ・ 繰り返し問題を読み、問われていることは何かをしっかりと確認する。
- ・ いつものパターン(流れ)で学習を進める。

○ 視覚化

- ・ 本や本立ての絵を準備し、視覚的にもイメージしやすいようにする。
- ・ 問題を解く際に、言葉や図を使ってかく。必要な子には、ヒントカードを渡す。
- ・ 前時までの学習内容を想起させやすいように、学習の軌跡を掲示する。

○ 共有化

- ・ クラス全員で共有する考えについてはペア学習を取り入れ、考えを確実に広げる。また、ペアでの確認を取り入れて、自信をもって発言できるようにする。
- ・ 学習のまとめを板書する際には、できるだけ子ども達の言葉を取り入れることで、発表した達成感を味わえるようにする。

視覚化



8冊目は、立てられるかな。

メロン 40 個を 1 箱に 6 個ずつ入れていくよ。あまった 4 個はどうしたらいいかな。



共有化

あまり 2 cm しかないから、あつさ 4 cm の本は、入らないんじゃないかな。



昨日の勉強は、問題の答えに 1 を足したけど、今日の問題は、あまりを切り捨てて考え、答えをもとめたらいいんだね。

焦点化

問題文を声に出して、読んでみましょう。
今日のおたずねは何ですか。



成果と課題

- 成果** ○ 視覚化の手立てである本棚の掲示物はとても有効的だった。
- 図鑑、メロン、テープなど具体物を用いたことで、子ども達が問題を捉えやすかった。
 - いつも同じ流れ(型)で授業をしたことにより、子どもたちが見通しを持ちながら学習に取り組むことができた。
- 課題** ● 自分の考えを書く場面で、ヒントカードを渡してもなかなか書くことができない子どもたちがいた。
- 「8あまり2」の8は何か、2は何かをおさえてから、自分の考えを書かせるようにしたらよかった。
 - めあては、あまりをどうしたらいいのか考えることに焦点を当てるとよかった。

ユニバーサルデザインの視点を重視した授業の研究

～わかる・できる授業を目指して～

4年 道徳科 「いじりといじめ」

UD (ユニバーサルデザイン) の視点

○ 焦点化

- ・導入では、事前アンケートをもとに、「いじり」と「いじめ」に関する関心を高める。
- ・主発問では、間口が広く拡散する発問(どのような・気付いたことはありますか等)をせず、間口の狭い発問を行い、どの子も学習に乗りやすくする。

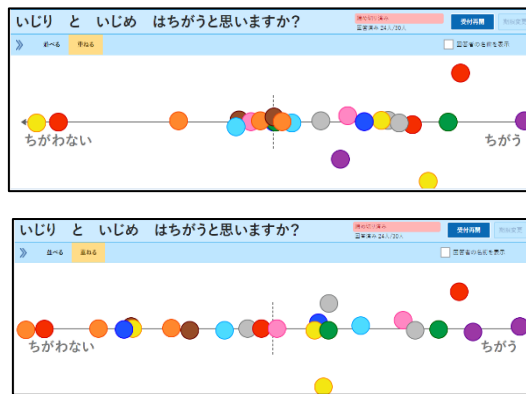
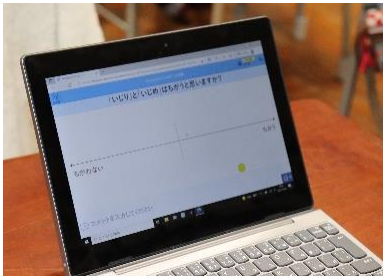
○ 視覚化

- ・タブレットの学習活動端末支援Webシステム(スカイメニュークラウド)のポジショニングを活用し、自分の考えを明確にしたり、他の児童の考えと自分の考えを比較しやすくしたりする。また、全体での交流後、考えが変わった児童は、ポジショニングのマーカーを移動させることで変容を視覚的に捉えやすくする。
- ・挿絵を活用することで、登場人物の心情を考えやすくする。

○ 共有化

- ・クラス全員で共有する考えについてはペア学習を取り入れ、考えを確実に広げる。また、ペアでの確認を取り入れて、自信をもって発言できるようにする。

視覚化



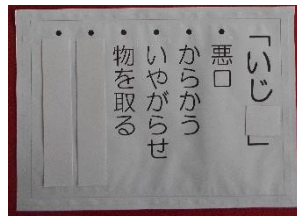
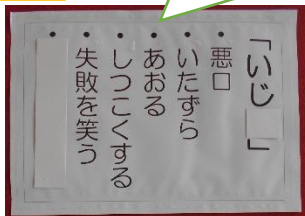
最初は、「迷う」人が多かったけれど、授業の最後は、いじりといじめは、「違う」と考えている人が増えたね。

共有化

焦点化

どっちが「いじり」「いじめ」が分からないな?

「いじり」と「いじめ」は全く違うものなのかな?



隣の友達と相談したから、自信をもって発表できる!



成果と課題

成果 ○導入では、事前アンケートをもとに、「どちらがいじりで、どちらがいじめでしょう?」とクイズ形式で発問したことで、「いじり」と「いじめ」に関する関心を高めることができ、子どもたちが積極的に授業に参加していた。○ICT 端末を利用したことで、友達と自分の考えを比較することができ、活発に意見交流ができた。また、考えが変わった子どもを意図的に指名し、変容の理由を聞いたことで、さらに授業のねらいに近づくことができた。

課題 ●形式的な話し合い活動ではなく、子どもたちの自由(本音)な発言が飛び交うような場、普段子どもが休み時間に話している雑談のような場を設定すると、より子どもが主体の授業になると考える。

ユニバーサルデザインの視点を重視した授業の研究

～わかる・できる授業を目指して～

5年 国語 「やなせたかし —アンパンマンの勇気」

UD (ユニバーサルデザイン) の視点

○ 焦点化

- ・本文を場面ごとに分けて短くしたワークシートを使用することで、児童が集中して課題に取り組めるようにする。
- ・初めに文章のどこから人物像を捉えたらよいか考える活動を全体で行うことで、児童が本時の流れを理解でき、スムーズに活動に入れるようにする。

○ 視覚化

- ・「人物を表す言葉」を提示することで、人物像を言葉で表すことが苦手な児童も自分の考えがもてるようにする。
- ・前時までの学習内容を掲示しておき、学習の流れを視覚的につかめるようにする。
- ・児童のワークシートと合わせて、拡大したワークシートを掲示することで、児童が理解しやすくてできるようにする。

○ 共有化

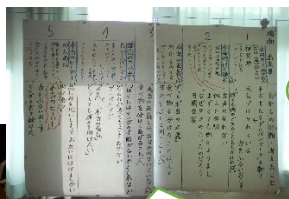
- ・個人で考えたことを、班で話し合うことで、互いの考えについて共感したり深めたりできるようにする。
- ・班で話し合ったことを、黒板に張り出すことで、クラス全体で考えを共有できるようにする。

視覚化



前時までの流れを掲示

この言葉の中から、どの言葉がやなせたかしさんにあっているかな？



私はこの文章からやなせたかしさんの人物像が分かるよ！



共有化



私はやなせたかしさんは勇気がある人だと思うな。

焦点化



班で話し合った人物像を段落で色を変えて区別

人物像のとらえ方を全体で確認した。

段落ごとに大事な文をさがして、線を引いてみよう！



成果と課題

- 成果**
- 人物像をどこから捉えたらよいか考える活動をはじめに全体で行うことで、児童が本時の流れを理解でき、スムーズに活動に入ることができた。
 - 人物を表す言葉のヒントカードを渡すことで、人物像について児童がスムーズに理解できた。
 - 班活動でお互いに意見を交換しあうことで、考えを深めることができた。
- 課題**
- 授業時間がギリギリになってしまい、児童の考える時間が少なかった。もっと時間配分に気を付けて、児童が考えると共有する時間を確保しなければならないと感じた。

ユニバーサルデザインの視点を重視した授業の研究

～わかる・できる授業を目指して～

6年 社会 「大陸に学んだ国づくり」

UD (ユニバーサルデザイン) の視点

○ 焦点化

・間口が広く拡散する発問(どのような・気付いたことはありますか等)をできる限りせず、間口の狭い発問(どちらが? だれが? 何の仕事?)を行い、どの子ども学習に乗りやすくする。

○ 視覚化

・あらかじめ授業でおさえたい必要な資料を映像で見せ、分かりやすいようにする。

・課題になる資料の見せ方を工夫する。(ダウト部分をつくる等。)子どもが資料のおもしろさを感じながら、学習のねらいつながるように子どもの意識を引き付けるようにする。

○ 共有化

・予想し発表する時間を多めにとることで、授業へ参加しやすくする。

・クラス全員で共有する考えについてはペア学習を取り入れ、考えを確実に広げる。また、ペアでの確認を取り入れて、自信をもって発言できるようにする。

・学習のまとめをノートに書かせる際に、まとめの型を用意して、個別の支援を行う。

視覚化



10人だと思う人!

聖徳太子は同時に何人の人の話を聞き分けたでしょう?

焦点化



どんな時代に生きた人なのか(映像で)見てみよう。

聖徳太子の政治が分かるのは資料集のここだよ。年表を見よう。

共有化



聖徳太子はどんな政治を行ったか予想したよ。わたしは……

資料のどこを見たらいいかわかるように付箋をつけた。



成果と課題

成果 ○導入の時点の逸話クイズで興味・関心をもって学習に取り組み、歴史の時代背景の映像を見せたことで、学習内容の理解がしやすかったようである。学習に継続して集中できた。○付箋を資料や教科書に貼ることで、資料のどこをみるとよいか分からない児童が迷うことが少なくなった。また、ワークシートと板書を同じ物にする、まとめカードの配布などでほぼ全員が学習内容をノートにまとめることができた。

課題 ●資料を活用して自分で調べる時間をさらに確保すると、机間指導の中で丁寧に個別の支援ができるようになり、具体的なノートのまとめ方が上達すると考えられる。時間配分を検討していきたい。

ユニバーサルデザインの視点を重視した授業の研究

～わかる・できる授業を目指して～

あおぞら1組 特別活動(学級活動(2))
「おやつを作って 食べて 食事について考えよう」

UD (ユニバーサルデザイン) の視点

○ 焦点化

・ 題材の導入時に、今までの食育の学習を想起させて、めあてにつなぎ、何のためにおやつ作りをするのかという学習のねらいを明確にする。

○ 視覚化

・ 紙芝居を活用したり、写真や動画を提示したりして、どの子(異学年)も学習への意欲を高めるようにする。
・ 活動の流れや活動時間を模造紙に書いて提示し、学習の見通しをもたせるようにする。

○ 共有化

・ ふり返しカードを活用して、話し合いの場面を設定して、食育の視点で学習のまとめをする。
・ 2つの異学年の小グループでおやつ作りをさせ、上級生が下級生に教えることで考えの共有化を図る。

焦点化

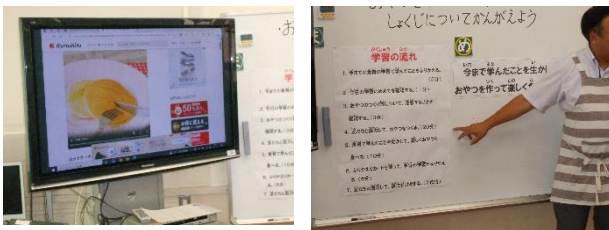


【既習の食育の学習を掲示物を使って振り返り、めあてにつなげる場面】

共有化

マナーは、守れなかったけど、
これからは守りたいな。

視覚化



【レシピ動画を視聴したり、学習の流れを説明したりして、
授業の見通しをもたせる場面】

量が多すぎて、残してしま
った。



残さず食べて、楽しかった。

成果

○ UD の視点としての焦点化や視覚化の手立てによって、授業のめあてをどの子にも共有することができ、最後まで学習意欲を持続させることができた。

○ 授業後に「食べ残しをしない。」「あいさつ」「食事のマナー」について意識するようになり、牛乳やご飯などを進んで飲んだり、食べたりする姿が見られるようになった。

課題

● 食事のマナーについては、授業後も相変わらず、変容の見られない児童がいるのが課題として残った。

ユニバーサルデザインの視点を重視した授業の研究

～わかる・できる授業を目指して～

あおぞら 2 組 自立活動 「上手なきき方」

UD (ユニバーサルデザイン) の視点

○ 焦点化

- ・聴き方のポイントを「あ・い・う・え・お」で始まる短い言葉にまとめ、覚えやすくする。
- ・ふり返しシートを使って、自分の聴き方をふり返ったり、もっと頑張りたいポイントに気づかせたりする。

○ 視覚化

- ・教師がモデリングをする際には、良い例と良くない例の 2 つを示して聴き方のポイントに気づきやすくする。
- ・リハーサルの際に話す内容を作文やメモに書かせるなど、話をする事への抵抗が少なくなるようにする。

○ 共有化

- ・ペアになって練習し、互いに観察して良かったところを伝え合わせる。
- ・練習をふり返ったり、学習をふり返ったりして、気づいたことや学んだことをお互いに交流し合う場をつくる。

視覚化



先生たちの聴き方をよく見て、どんな聴き方がいいか、ポイントを見つけよう!

焦点化



聴き方のポイントが『あいうえお』で分かりやすく書いてあるな……。』全部できるか、やってみよう!

共有化

「話す役」って難しいな。でも、台本もあるから、迷ったらそこから選んで話せばいいから、安心だ。どれにしようかな?



「話す役」と「聴く役」に分かれて、聴き方ポイントを使って相手の話を聴くことができるか、実際に会話をしながら練習しよう!

成果と課題

成果 ○聴き方のポイントを「あいうえお」形式で示したのは、子供達も覚えやすかったと思う。

OSST 用の準備物(やくそくカード・ポイントカード・役割の立て札・台本・ワークシートなど)を用意していたので、活動をスムーズに行うことができた。

課題 ●1 回目と同じことの繰り返しではなく、2 回目は小道具や動きを付け加えるなどの工夫があれば、間延びせずに新鮮な気持ちで聴き方の練習に取り組めたのではないと思う。

●聴き方スキルの獲得と定着を目指すには、チャレンジ週間を設定するなどの継続した取り組みを行う必要がある。

ユニバーサルデザインの視点を重視した授業の研究

～わかる・できる授業を目指して～

たいよう 国語 「 集団・個別学習 」

UD (ユニバーサルデザイン) の視点

- **焦点化**
 - ・ 読み聞かせを始める前に、登場人物を確認し、**主人公に焦点**を当てて話を聞けるようにする。
 - ・ 読み聞かせの中に出てくるものの**実物**を示し、実感を伴った理解を促すようにする。
 - ・ トレーニングの中に**漢字コグトレ**や**なぞなぞ**等、子ども達が意欲的に活動できるものを取り入れる。
- **視覚化**
 - ・ **学習の流れ**を掲示し、活動が終わるごとに進み具合を示すマグネットを動かしていく。
 - ・ 音読暗唱ブックひまわりのページを、**UDデジタル教科書体**で打ち直し、見やすくしてから拡大する。
 - ・ 今読んでいる部分が見える**音読補助シート**を活用する。
- **共有化**
 - ・ 少人数での読み聞かせを行う中で、子ども達にわかりにくい言葉の**意味をまず尋ね、解説**することを繰り返し、語彙力を高めたり、話の理解を促したりするようにする。
 - ・ 気がそれやすい児童を引き付けるため、**一部分を音読**させるようにする。
 - ・ 個別学習の際、教師が個別につける時間が限られているため、**一人でも取り組みやすい課題**を用意したり、実態に近い児童同士で**ペア**を組ませ課題に取り組ませたりすることで、休憩時間にならないようにする。
 - ・ **ふり返りの型**を示し、自信をもってふり返りを発表できるようにする。

視覚化



学習の流れマグネット



UDフォントを音読補助シートで見ると、とても見やすいです!

共有化



iPadでの学習



4回チャレンジ
漢字テスト

一人でできる漢字
マッチングカード

焦点化



漢字コグトレ

今日の主人公は...



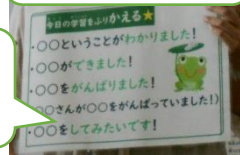
〇〇ってどういう
意味わかる?



「ふりかえる」
掲示物



ペアでできる
カタカタ探しカード



成果と課題

成果 ○日頃から「やってみよう!」を合言葉に15分単位のモジュール学習としていることで、テンポよく学習を進められ、子どもたちの意欲や集中につながっている。○通常学級ではなかなかできない個別の寄り添いや支援を取り入れていることで、参観された先生方から、「通常学級にいた頃は頻繁に泣いたりお客さん状態になっていたりした児童が、いきいきと学習する様子が見られ、居心地の良さも感じられた。」との感想をいただいた。

課題 ●モジュール学習もいいが、特別支援学級の国語の授業としては、「劇をしよう!」や「かるたをつくろう!」等、皆でできる単元づくりをさらに進めていく必要がある。●個別の学習を効率よくできるよう、さらなる工夫を続けていきたい。